



プレスリリース
平成 30 年 3 月 13 日
松竹株式会社



4 月 28・29 日開催「ニコニコ超会議 2018」 ～中村獅童×初音ミク「超歌舞伎」第 3 弾～ 『積思花顔競』全貌を初公開

松竹株式会社（本社：東京都中央区・代表取締役社長：迫本淳一）は、2018 年 4 月 28 日(土)・29 日(日)に、千葉・幕張メッセにて開催される「ニコニコ超会議 2018」において上演する「超歌舞伎」について、詳細情報を発表しました。

ボーカロイド楽曲『天樂』が劇中曲に、鏡音リンの初出演も決定

一昨年開催の「ニコニコ超会議 2016」で初上演し、歌舞伎俳優とボーカロイドキャラクターの共演という全く新しい歌舞伎の形を実現した「超歌舞伎 Supported by NTT」。第 3 弾となる今回は、顔見世舞踊の大作『積恋雪関扉』に着想を得た新作『積思花顔競 - 祝春超歌舞伎 賑 -』をお届けします。

平安時代を舞台に、中村獅童は初の悪人役となる惟高親王と、これに敵対する良女安貞の 2 役を演じます。また、初音ミクも同様に、安貞の許嫁である小野初音姫と、白鷺の精霊の 2 役を演じ分けます。このほか、磐萩の局役・中村蝶紫、秦大膳武虎役・澤村國矢に加え、ボーカロイドキャラクターである「鏡音リン」（かがみねりん）の出演が決定し、同キャラクターが歌う楽曲『天樂』が今作の劇中曲に決定しました。『天樂』はこれまでの「超歌舞伎」劇中曲と同様、ニコニコ動画での二次創作やアーティストのカバーなどで人気を集める楽曲で、前述の「鏡音リン」の代表曲として支持されています。

また、この「超歌舞伎」シリーズは従来の歌舞伎にはない最新テクノロジー・NTT のイメージレプレゼンツ技術「Kirari!」を駆使した演出も大きな特徴となっており、本作ではさらに進化した「Kirari!」の最新技術を用いて、これまで実現不可能だった、背景に変化があるシーンにおいても頑健な被写体抽出を実現し、舞台大詰のシーンにおける獅童とミクの立廻りを演出します。また、「両面透過型多層空中像表示装置」の導入により、新たに透過ボード外でのミクの出演が実現。ミクが山車に乗って登場し、ステージ上を練り歩きます。

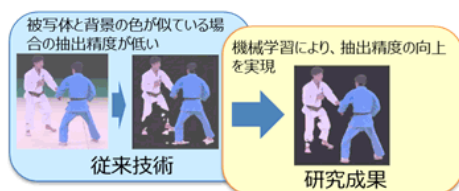
そして今回の超歌舞伎では、「口上」から趣向を変えて、冒頭に「お祭り」をもとにした超所作事（舞踊劇）「祝春超歌舞伎 賑」が上演され、中村獅童が超歌舞伎の舞台に戻ってくること、超歌舞伎 3 年目の春を祝います。

このほか、「松竹超縁日」では様々な体験企画を開催。「超歌舞伎」の出演者がゲスト出演し、作中の所作レクチャーやトークショーなど作品と連動したイベントが楽しめます。また、昨年上演した『花街詞合鏡（くわことばあわせかがみ）』の、PlayStation® VR 対応アプリ配信が 4 月に、ブルーレイの発売が 4 月 28 日（土）に決定しました。

※PlayStation® VR™は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。



超歌舞伎『積思花顔競』メインビジュアル



「Kirari!」最新技術



昨年の様子